

令和8年度 教育学部 地域指定枠・教員養成特別枠 学校推薦型選抜 小論文問題

次の文章を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。

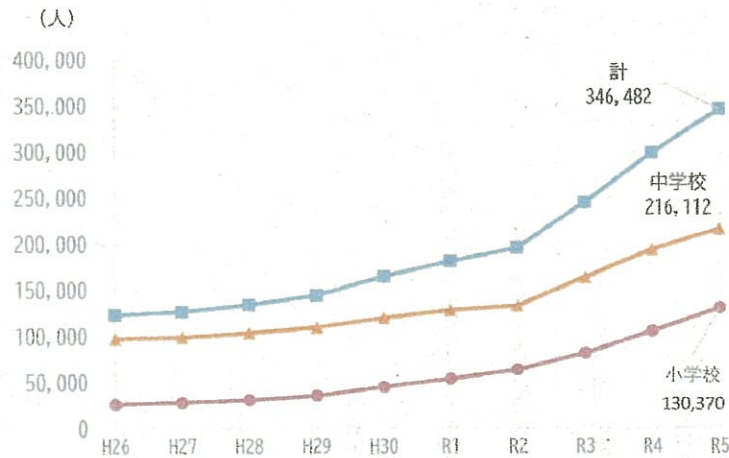
別紙の資料は「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」（文部科学省：令和6年10月）で示された「小・中学校における不登校の状況について」の調査結果の一部である。

【問1】 別紙の資料から子どもの不登校の状況についてどのようなことが読み取れるか、300字以内で説明しなさい。

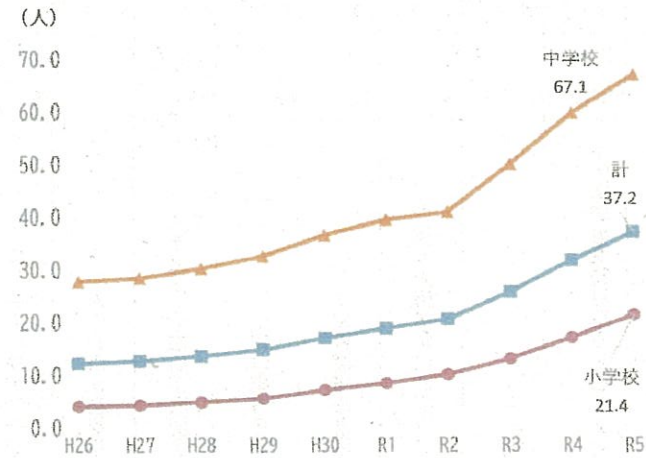
【問2】 問1での解答をふまえ、もしあなたが学校の教員になった場合、子どもの不登校についてどのように考え、どのような取り組みをしていきたいか、想定する学校種を明示したうえで、600字以内で記述しなさい。

小・中学校における不登校の状況について 図1

不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350	81,498	105,112	130,370
	3.9	4.2	4.7	5.4	7.0	8.3	10.0	13.0	17.0	21.4
中学校	97,033	98,408	103,235	108,999	119,687	127,922	132,777	163,442	193,936	216,112
	27.6	28.3	30.1	32.5	36.5	39.4	40.9	50.0	59.8	67.1
計	122,897	125,991	133,683	144,031	164,528	181,272	196,127	244,940	299,048	346,482
	12.1	12.6	13.5	14.7	16.9	18.8	20.5	25.7	31.7	37.2

小・中学校における不登校の状況について

図2

不登校児童生徒について把握した事実

	不登校児童生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつとの相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった
小学校	130,370	2,350 1.8%	14,951 11.5%	5,735 4.4%	19,124 14.7%	2,622 2.0%	4,288 3.3%	12,130 9.3%	22,116 17.0%	31,937 24.5%	2,992 2.3%	42,014 32.2%	29,549 22.7%	11,454 8.8%	11,096 8.5%
中学校	216,112	2,113 1.0%	31,021 14.4%	4,548 2.1%	33,423 15.5%	4,223 2.0%	9,693 4.5%	12,822 5.9%	20,854 9.6%	47,701 22.1%	8,630 4.0%	69,617 32.2%	50,643 23.4%	12,676 5.9%	11,871 5.5%
合計	346,482	4,463 1.3%	45,972 13.3%	10,283 3.0%	52,547 15.2%	6,845 2.0%	13,981 4.0%	24,952 7.2%	42,970 12.4%	79,638 23.0%	11,622 3.4%	111,631 32.2%	80,192 23.1%	24,130 7.0%	22,967 6.6%

※ 「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき、当てはまるものをすべて回答。

※ 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。

※ 「個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった。」は、障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援以外の個別の配慮を指す。

(図1・2 出典資料：文部科学省「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」(令和6年10月31日))

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜:令和8年度)	問題番号	
対象学部・学科(課程)等	教育学部学校教育教員養成課程(教員養成特別枠・地域指定枠)		
出題のねらい	<p>1 出題のねらい 本学部アドミッション・ポリシー「教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等」を問うことである。</p> <p>2 出題の形式 解答時間は60分で2題を出題した。資料を示し、問いに答える形式とした。</p> <p>3 出題内容の抜粋 次の文章を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。 別紙の資料は「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」(文部科学省:令和6年10月)で示された「小・中学校における不登校の状況について」の調査結果の一部である。 【問1】 別紙の資料から子どもの不登校の状況についてどのようなことが読み取れるか、300字以内で説明しなさい。 【問2】 問1での解答をふまえ、もしあなたが学校の教員になった場合、子どもの不登校についてどのように考え、どのような取り組みをしていきたいか、想定する学校種を明示したうえで、600字以内で記述しなさい。 (資料出典： https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_2_2.pdf)</p>		
採点基準	4名の採点委員が、表現力・思考力の2観点で採点を行った。		